

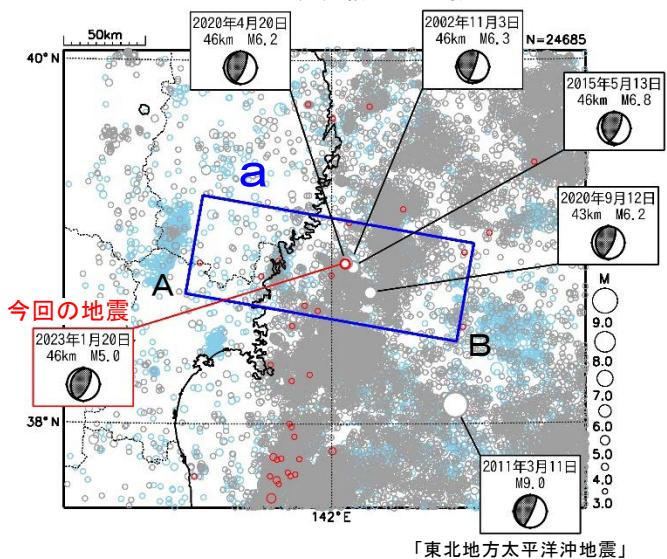
1月20日 宮城県沖の地震

震央分布図

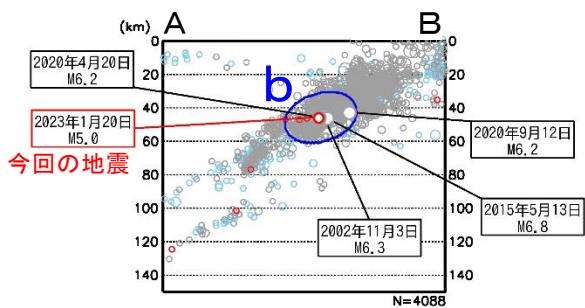
(1997年10月1日～2023年1月31日、
深さ0～150km、M≥3.0)

2011年3月10日以前に発生した地震を水色、
2011年3月11日以降に発生した地震を灰色、
2023年1月に発生した地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解



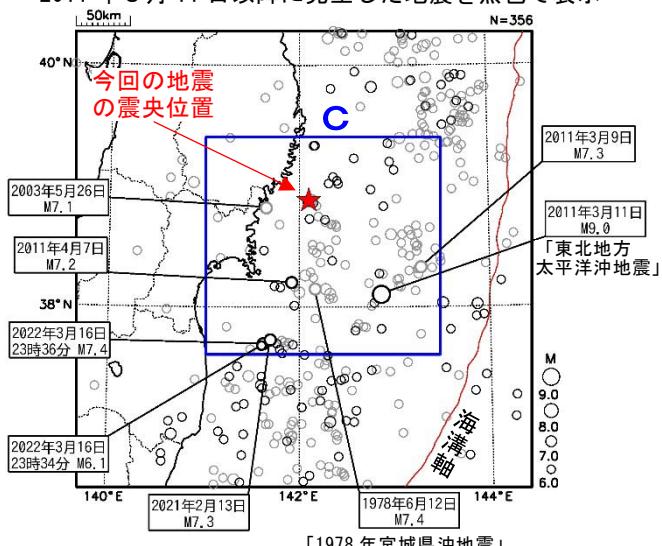
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

(1919年1月1日～2023年1月31日、
深さ0～150km、M≥6.0)

2011年3月10日以前に発生した地震を灰色、
2011年3月11日以降に発生した地震を黒色で表示

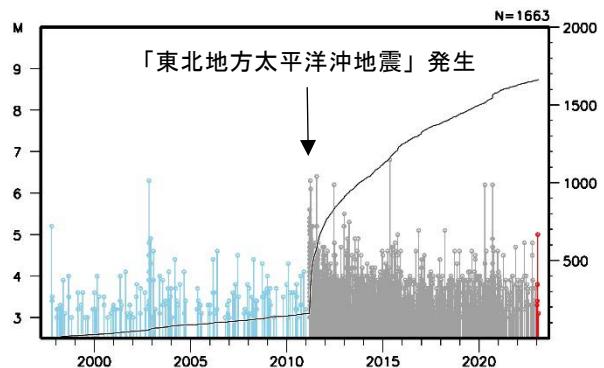


2023年1月20日14時48分に宮城県沖の深さ46kmでM5.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が西北西～東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、M5.0以上の地震の発生数が増加した。2015年5月13日にはM6.8の地震（最大震度5強）が発生し、住家一部破損3棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では「東北地方太平洋沖地震」のほか、1978年6月12日には「1978年宮城県沖地震」（M7.4、最大震度5）が発生し、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟などの被害が生じる（被害は「日本被害地震総覧」による）など、M7.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

